

# みんなの県政

1977/10 No. 105



新しい高志学園で機能訓練に励む



## 県立高志学園

富山市下飯野51-1 ☎38-5678・9

## 県立高志養護学校

富山市道正29-1 ☎38-4811



「とっても明るいから気持ちがいい」(小六A君)  
 「広くてきれいだからたのしくあそべる」(小五Bさん)  
 「広々としたきれいな教室なので勉強に一段とはりあいがでる」(中一C君)  
 「よく整備されているので、希望(治療に)が湧いてきました」(中二Dさん)  
 新しい高志学園と高志養護学校は棟続き。治療を受けながら勉強ができるように色々な施設がととのっています。  
 また、新しく、重度の身体障害児や通園児も、治療訓練が受けられるようになりました。  
 優しく、ときには厳しい先生や指導員、保母さんや看護婦さん。

んが両親に代って世話をしてくれる学園や学校で、子供達は、治療を受けながら、からだの不自由を克服し一日も早く自立自活しようとお互いに助け合い、はげましあっています。  
 また、こんど整備された施設にエネルギーセンターがあります。

これは、学園と学校、そしてこれから次々に建設される福祉施設に、電気・水・温水などを送る役割をもつ施設で、最新式の高温水ボイラー、停電事故に備えた自家発電装置、故障などがすぐわかるデルタ二〇〇〇というコンピューターシステムが備え付けられております。



料理飲食等消費税免税点が引上げられる——17  
 トピックス 8月16日～9月15日——18～19  
 企業に寄生する暴力団の締出し——20  
 持たずな持たずな危い刃物——20  
 県有美術品(彫刻・工芸)紹介⑦  
 華生 横山 白汀——表3  
 第31回全国レクリエーション大会の成果——表4

高志学園・高志養護学校——表紙・表2  
 昭和52年富山県政世論調査抜すい——1～6  
 ふるさとへの提言——7  
 第1回県民スポーツ大学校の成果——8～9  
 ふるさとの文化財④ 後花園天皇宸翰御消息——10～11  
 座談会「ソ連」みたま——12～15  
 かしこい消費者シリーズNo.9  
 200カイリと私たちの食卓——16～17

# 1977 富山県政世論調査 抜すい

昭和五十二年富山県政世論調査の結果がこのほどまとまりました。  
 今回の調査項目は、一般県政のほか、特に当面する「住みよい富山県をつくる総合計画」の見直しに当たり参考資料となる項目を設定しました。  
 本紙では、この調査結果の特徴をあげました。

〈調査設計〉

|      |              |
|------|--------------|
| 調査地域 | 富山県全域        |
| 調査対象 | 満20歳以上の男女    |
| 標本数  | 1200人        |
| 抽出方法 | 層化副次無作為抽出法   |
| 調査時期 | 52・6・20～7・20 |
| 調査方法 | 調査員による面接調査   |

〈回収率〉  
 九七・七% 一、一七二人



### 生活環境

### 居住地域

日常生活 施設の整備状況

道路、交通安全施設など、地域住民が日常生活をするための基

どのようになっているか? 満足している割合が高いものは、「上水道の普及状況」、「ゴミの収集状況」で、逆に不満の強いものとしては、「下水道の整備、下水の処理状況」、「小公

園・緑地、遊び場等の整備状況」があげられます。  
**全県的**  
**大規模** 施設の整備状況  
**特殊** 短大、大学など高等教育機関

### 居住地域における施設の整備状況

|                 | よい   | 普通   | わからない | 悪い   |
|-----------------|------|------|-------|------|
| 道路              | 22.6 | 44.7 | 2.9   | 29.8 |
| 交通安全施設          | 14.3 | 47.4 | 8.4   | 29.9 |
| 上水道             | 41.6 | 35.6 | 5.9   | 16.9 |
| 下水道・下水処理        | 16.5 | 23.3 | 7.3   | 52.9 |
| ゴミ・し尿           | 41.5 | 40.6 | 2.7   | 15.2 |
| 医療機関            | 19.5 | 45.3 | 12.1  | 23.1 |
| 小公園・緑地・遊び場      | 14.7 | 27.7 | 9.1   | 48.5 |
| 文化施設            | 19.6 | 40.0 | 15.7  | 24.7 |
| スポーツ・レクリエーション施設 | 18.3 | 35.8 | 16.6  | 29.3 |
| 小・中学校施設         | 26.7 | 37.1 | 23.9  | 12.3 |
| 保育所・幼稚園         | 29.6 | 38.2 | 18.0  | 14.2 |
| 老人福祉施設          | 18.8 | 29.6 | 27.4  | 24.2 |
| 商店・商店街          | 16.6 | 47.6 | 9.0   | 26.8 |

単位(%)

### 全県的規模の施設の整備状況

|                 | よい   | 普通   | わからない | 悪い   |
|-----------------|------|------|-------|------|
| 高等教育機関          | 8.2  | 32.6 | 41.9  | 17.3 |
| 大規模公園、レジャーランド施設 | 4.5  | 25.1 | 21.5  | 48.9 |
| 文化教育施設          | 4.5  | 27.5 | 28.7  | 39.3 |
| 大規模スポーツ施設       | 5.4  | 24.7 | 38.1  | 31.8 |
| 福祉施設            | 10.5 | 26.0 | 30.2  | 33.3 |
| 高度・特殊医療施設       | 4.4  | 19.9 | 30.2  | 45.5 |
| 基幹道路網           | 14.5 | 42.1 | 17.8  | 25.6 |
| 大都市と結ぶ高速交通機関    | 7.3  | 30.5 | 22.4  | 39.8 |

単位(%)

や大規模公園などの施設の整備状況についてどのように感じているか？

八項目の施設について、すべてが「よい」より「悪い」が上回り、このような大規模、または特殊な施設に対する県民の抱く感じはかなり厳しく、特に、「休日楽しく過ごせる大規模公園やレジャーランドについては、約半数の人が「悪い」と感じている点が注目されます。



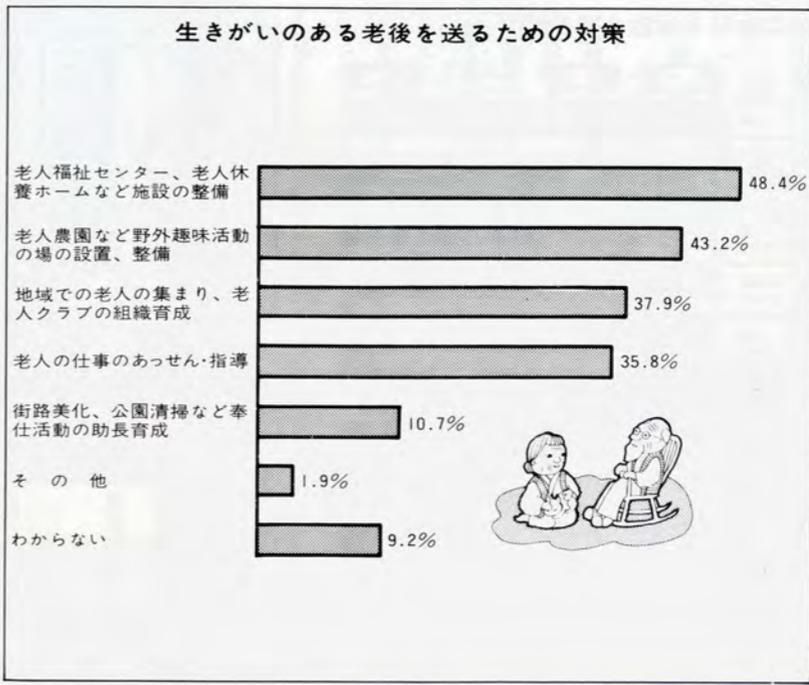
生きがいある

老後を送るための対策

図表でご覧のように、生きがいある老後を送るために大切と思われる対策の一位は、「老人福祉センター、老人保養ホームなど施設の整備」。二位は老人農園など「野外趣味活動の場の設

置、整備」となっています。三位、四位の「地域での老人の集まり、老人クラブの組織育成」、

生きがいのある老後を送るための対策



安心して

老後を送るための対策

「年金の充実」と「医療保険制度の充実」が大切だとする声

一声運動

老人福祉ボランティア

いう考え方が広まっており、これが、これについて八〇・三割の人が賛成であると答えています。

賛成であると答えた人が具体的に参加協力できる活動の内容としては、「ひとり暮らしの老人等への朝晩の挨拶など、愛の「一声運動」が最も多く、次いで「青年団、婦人会、老人クラブ



鑑賞や参加

催しものの希望

県内の芸術文化関係の催しについて、鑑賞や参加の希望の多いものは、美術展・茶の湯・いけ花などの生活文化展、音楽会の順となっています。

施設の希望

文化(芸術関係施設)に対する希望は、美術館、演劇ホール、音楽堂、博物館の順で大差なく並んでいます。



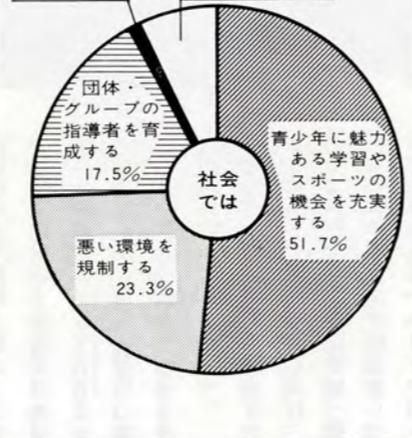
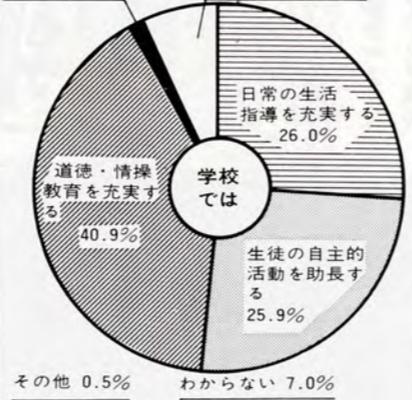
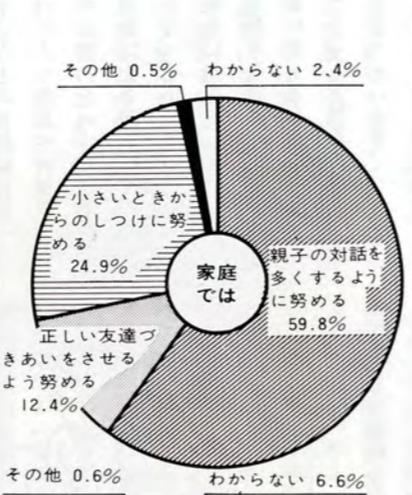
家庭・学校・社会

青少年の健全育成

青少年をとりまく社会環境の浄化が指摘され、社会的課題となっている「青少年の健全育成」について、家庭・学校・社会ではどのようなことが大切か？

をそれぞれ一位にあげています。

青少年を健全に育成するためには



のびのびと

義務教育について望む

近年、学校教育における教育のあるべき姿の議論が高まっています。

「もっと道徳教育を……」「もっと心身を鍛えて欲しい」という声が多く、それに対して「もっと勉強させて欲しい」という声は、わずか四・六割にとどまったことが注目される点です。

女性

は「のびのびした教育を」

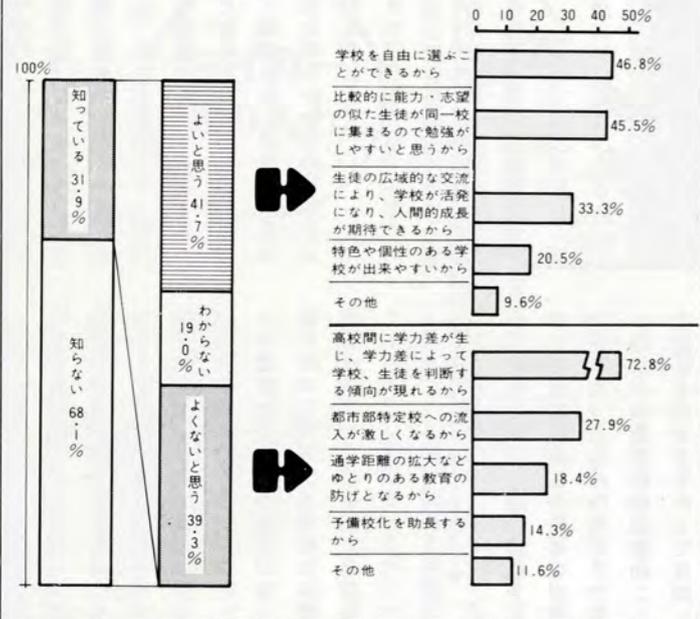
一位にあげています。

高校普通科

学区制の賛否

現在の学区制を知っていると答えた人は三一・九割。このうち市部では二八・六割、町村部では四一・六割と、町村部における関心の高さがうかがわれます。

学区制についてあなたは？



と思っている人は四一・七割、「悪い」が三九・三割と、賛否の意見はほぼ伯仲。

現行制度支持意見は、市部の三七・八割に対し、町村部では四九・八割と支持者が多くみられます。

高校進学に関心を持っていると思われる、中学生をもつ家庭の人の意見は、四九・三割が「良い」、三八・三割が「悪い」と現行制度を支持する声が強いです。

## 消費生活



### 節約のポイント

**資源節約型・買い控え型**

物を大切にする運動が進められていますが、あなたの家ではどのような点で節約を心がけていますか？

調査の結果では九四・八割も

う結果が現われました。

現行学区制支持意見の主な理由は「学校を自由に選ぶことができる」と「比較的能力、志望の似た生徒が同一校に集まるので勉強しやすい」となっており、一方、現行制度を批判する意見は、「高校間に学力差が生じ、学力差によって学校、生徒を判断する傾向が現われる」という、いわゆる学校格差の問題を反対理由の第一位にあげています。

の人が、何らかの形で節約を心がけています。

節約のポイントは「電気、ガス、水道などの資源節約型」、「ぜいたくな商品や付属品の多いものは買わないようにする、選択消費による買い控え型」が中心となっています。

これらに続いて「修理などを行って物を長持ちさせる」「用品でまだ使えるものは、他人にあげたり、不用品交換会に出す」の順となっています。

さて、あなたの節約点は…。



### 地域社会での結びつき

町内会や祭でコミュニティ人間は常に多数の他人とともに、助けあって生きています。その生活、職業などいろんな面において、共通の分野、考えのもとに形成される人間の集団をコミュニティと呼んでいます。

地域社会という共通の場で住民は、これとどのようなかわりをもっていらっしゃるでしょうか？

調査では「住民に新しい知り合いができるきっかけ」「町内などの環境美化への参加」「祭りへの参加」を通じて、地域社会と住民の結びつきを眺めてみました。

住民に新しい知り合いができるきっかけの場としては、「町内会などの活動」が五二・三割と最も多く、町内などの環境美

化への参加、例えば児童公園の草むしりなどには九〇・三割もの人が、何らかの形で参加すると答えており、なかでも「町内会から連絡があれば参加する」と答えた人が六三・〇割と最も多く、地域社会における町内会と住民のかかわりの深さがうかがわれました。

祭りへの参加では、「祭りの

祭りに参加する人が最も多いと答えています。

健康のための意識的運動



## スポーツ

### 体力をつけよう

スポーツに関心はあるのだが

スポーツに対する要望の高まりに比べて、県では「県民ひとり一スポーツ」をめざした、県民総スポーツ運動を提唱しておりますが、スポーツに対するの関心度は？

〇健康のための意識的運動

〇この一年間に行ったスポーツ

〇将来やってみたいスポーツ

〇スポーツ教室の参加意向

などにスポーツをあてて質問しました。

健康保持という目的で、週一回以上身体を動かしている人は四六・一割で、その内容は、「庭いじり」「体操」「散歩」などとなっています。

過去一年間に家庭や職場などで、スポーツを行なった人は、三五・四割で、その内容は、野球やソフトボールが最も多く、次いでバレーボールとなっています。

ます。

県や市町村で、だれでも参加できるスポーツ教室が開かれた場合に、参加したいと答えた人は四六・八割となっており、その内容として、「健康、体力づくりを主とした教室」や「民謡フォークダンス教室」に多くの希望がみられました。

今回の調査で特徴的と思われる



## 交通

### 交通渋滞緩和策

最近マイカーの自粛を最近モーターリゼーションの進展によって、都市部で交通渋滞が問題となっており、この緩和策としてマイカー利用に対する何らかの規制が考えられるか？

六八・七割の人が規制を考

たことは、二十〜二十四歳までの層では活動的スポーツを、二五歳〜二九歳までの層は気軽な軽いスポーツを希望する声が強くなり、三十歳代になると活動的スポーツに対する希望がかなり減少するという変化がみられ、運動不足による体力の衰えは、意外と早くやってくるようにみうけられます。

その規制方法に対する意見は、「近距離のマイカー通勤などの自粛を呼びかける」が



## 広報・公聴

### 県民と行政のパイプ

#### 住みよい県づくり

理解と参加と連帯

県では、住みよい県づくりと

四五・三割と最も多く、次いで「車の増加を規制すべきである」という意見が多くみられました。

県民の健全な発展をはかるため県民と県政の関係が、「理解と参加と連帯」で結ばれることを願って「みんなの県政」推進事業を進めています。これに関連して「県民の県政への関心度」と、「県政への理解と参加の行事に対する参加意向」について

県政に対し関心のある人は、五二・七割で、その内訳は「非



## 立山有料道路

立山有料道路は、立山一帯の自然保護と道路工事中の危険防止のため、マイカーの乗り入れが禁止されていますが？

立山有料道路は借入金で建設したもので、このままマイカー乗り入れ禁止を続けると、予定の料金収入が減収し、県民の税金などをこの償還資金等の一部に充てなければならぬという問題が生じます。

調査では「マイカー乗り入れ禁止に賛成する」意見が四三・二割となっています。次に料金収入の減収と建設費の償還資金

## マイカー乗り入れ

制措置のもとに、マイカーの一部乗り入れを認め少しでも料金

常に関心がある」が七・三割、「まあ関心がある」が四五・四割となっています。年令別で県政に関心をもっている人は、三十代から多くなり、四十代・五十代へと多くなっています。

県政に関心のない人の最も多い理由は、「県政の内容がむずかしいから」が二七・四割となっており、さらに広報活動に努め、県政への理解を深める必要が感ぜられます。

県政への県民参加ということに關連し、何らかのかたちで県政への理解と参加の行事を実施

収入の減収を少なくする「一九・三割」と、赤字問題とは別に「せっかくの道路であるからマイカーの利用も考えるべきである」(一六・三割)とを加えた「乗り入れを認める意見」が、三五・六割となっています。一方「わからない」と答えた人が二一・二割と目立っており、質問に対する判断の困難さがかがわれました。

# ふるさとへの 提言



私は父の勤めの都合で小学校から高校にかけて相当回数転校したものでした。外国船の停泊する伏木港、よく泳いだ水橋の海、丘陵な環境の大沢野の町並、又雄々しく聳える立山連峰、ふるさとの自然はいつも私の心の印画紙に焼きついて離れません。

私の高校時代、大きな感銘を受ける出来事がありました。ちょうどオリンピック・メルボルン大会（一九五六年）の体操の日本代表候補選手の合宿が富山で行なわれた時でした。竹本選手や小野選手の演技を眼の前に見て、なんであんなことが出来るのかなあ！とその素晴らしさに驚嘆と感動をおぼえ正に神技だと思つてたものでした。刺激を受けて自分にもあんな技が出来れば良いなあと夢中でやつたものでした。

その後私は体操の道を歩むことになるわけですが、幸いにしてオリンピック・ローマ、東京の両大会の日本代表となり優勝することが出来ましたのは誠に感激でした。

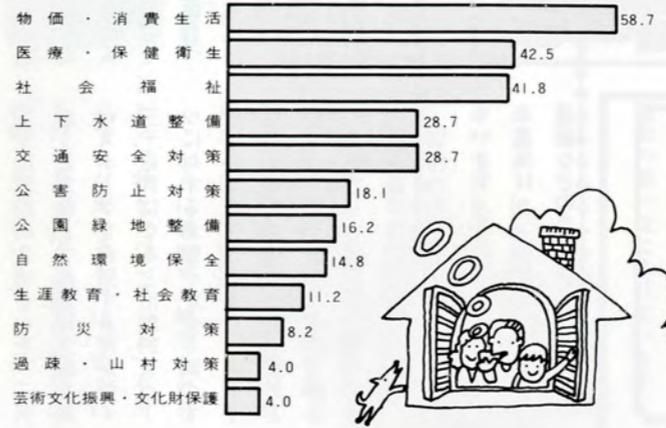
私は現在大学で指導しておりますが、学生達にいうことは、文化・スポーツ等を通してとにかく一流の催し物を観なさい。その中から必ず得るものがあるはずで、同時に自分自身魅力ある人間たるべき努力をなさい。ウワべだけのみせかけではなく、耐えて苦勞を続け、目標達成してはじめてにじみ出るいぶし銀の様な光の輝きを望みます」と。

体操の競技会や演技会等で私は世界の沢山の国々をまわりました。ソ連、チェコ、ルーマニア、ブルガリア等、東ヨーロッパ、イタリア、フランス、西独等、西ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、南アフリカ等々、国が違えばそれぞれ、気候、風土、風俗、習慣、言語等皆違うことはいまでもありませんが、人間の気持ち、心はどこでも通じあえるものだと体験しました。フランスの思想家、ジャン・ジャック・ルソーは「若い時には大いに旅をするのが良い」といっていますが各国をまわつてみて成程と思うことでした。

つぎは、  
みつくり たかし  
東海大学体育学部教授

## 県政への要望

### 住みよい富山県をつくる

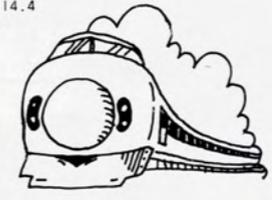
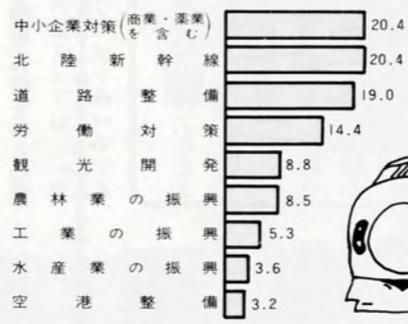


した場合に、六八・五割の人がこれに参加すべきと考えています。その内訳は「ぜひ参加したい」(四・〇割)、「機会があれば参加したい」(三五・七割)「参加した方がよいと思うが、自分はいらないだろう」(二八・八割)となっています。

どんな行事がよいかとなると「県政バス教室のようなもの」

「県民親子オリエンテーリングのようなもの」「知事と語る会のようなもの」「たとえは県民会議のように県政についての問題を県民の間で討論できる場のようなもの」など、参加者の自由意思で気軽に参加できるように幅広く希望が分散しています。

### 富山県に繁栄をもたらす



### 県政への要望

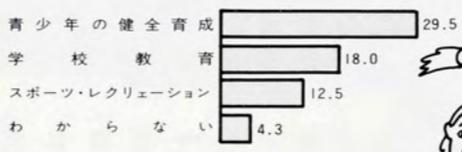
変らぬ重要施策への要望  
最後に県政への要望は図表の

とおりです。

『住みよい富山県をつくる』  
「物価、消費生活」「医療、保健衛生」「社会福祉」「上下水道」「交通安全」の順で主要要望がみられました。物価関係は昭和四八年から続けてトップを占め今回は昨年に比べ十三・七割の上昇を示しました。

『富山県に繁栄をもたらす』

### 若い世代を育てる



「中小企業対策」「北陸新幹線」に多くの要望がみられましたが昨年と比べて「北陸新幹線」に対する要望は七割上昇しています。

『若い世代を育てる』  
「青少年の健全育成」が昨年より一・九割増え、多くの要望がみられました。

# 成果あがる 第Ⅱ回 県民スポーツ大学校



## ひとり推進に大きなプラス

### ◎ねらいと特色

広く県民のスポーツに対する理解と関心を高め、県民ひとりスポーツを飛躍的に推進するねらいをもって開設された『県民スポーツ大学校』は、七月二六日二会場、各五種目の幕をあけ八月二十日成果をあげて終わりました。

この事業の特色は、わが国スポーツ界の一流指導者を講師として、スポーツや人生に関する講演を聞き、同時に実技指導を受けられることでした。参加者は、初心者、競技者、指導者と多様でしたが、結果としては講師の極めて熱心な指導により、みどり多い収穫があったものと、高くその成果が評価されました。

### ◎内容のあらまし

#### ①バレーボール

講師 大松博文氏

東京オリンピック大会に、回転レシーブと木の葉落しのサーブを考案して、金メダルを獲得した日本女子チームの監督『大松』氏の指導に参加した人は、両会場で九〇〇人。講演では、ス



#### ②水泳

講師 古橋広之進氏

戦後『フジヤマのトビ魚』と

いわれ、四〇〇が・八〇〇が・一五〇〇が水泳自由形の世界記録をつぎつぎに更新した古橋氏の指導を受けた人数は四八〇人。その苦心と努力の体験談をユーモラスに、しかも人生にもたらした多くの成果を語られ、参加者は多大な感銘を受けました。実技指導では、終始プールの中にあつて、それこそ手とり足をとつての熱心な指導に、参加者はもちろん、関係者一同、強く心を打たれました。

#### ③トリム体操

講師 小野 喬氏

オリンピック大会に四回連続出場という超人的活躍をし、鉄棒、跳馬では自ら考案した『超ウルトラC』の技を駆使して、金メダルを獲得された小野氏の指導を受けた人数五三〇人。生

るものがありました。

#### ④サッカー

講師 岡野俊一郎氏

最近のサッカーブームを反映して、八六〇人が参加。岡野氏はコーチ学を専門に研修し、日本のサッカーを国際的水準にまでひきあげた功労者で、スポーツとは何か、チームワークとは何かを具体的に語られた講演では、聞く者に大きな感動を与え

#### ⑤陸上競技

講師 寺沢 徹氏  
安田寛一氏

ともに『本県出身のオリンピック選手』であり、かつての世界のマラソン界及び日本のハートル界に君臨した王者です。参加者四八〇人を前に、記録は努力によって生み出されるという体験と、今なお燃え続けるスポーツへの情熱と感謝の気持をひ

れきされ、

胸をうたれるものがありました。

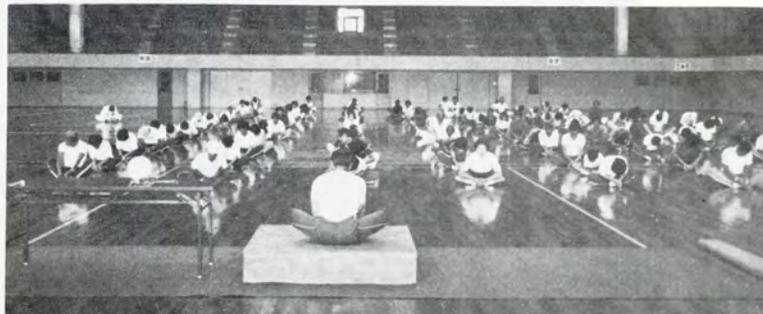
実技指導では、時に

は楽しく時には厳しく、

本当にスポーツを愛する人の指導

ぶりに、参加者のスポーツへの意

欲は一段と高まりました。



## 県民スポーツ大学校への期待

スポーツは「楽しいものである」といわれ、反面「厳しいものである」ともいわれるが、いずれも真実の格言です。

県民スポーツ大学校には、多様な参加者が集まりましたが、その目的により、その受けとめ

方によって、各人がスポーツの良さを肌で感じ、からだで受けとめ、意欲と関心との高まりが

ありありとかがわれました。この事業に参加した人たちが核となって、あまねく県民にスポーツが浸透することを期待するとともに、今後さらに充実した県民スポーツ大学校を開催したいものです。

# 少るものの文化財

## 瑞泉寺

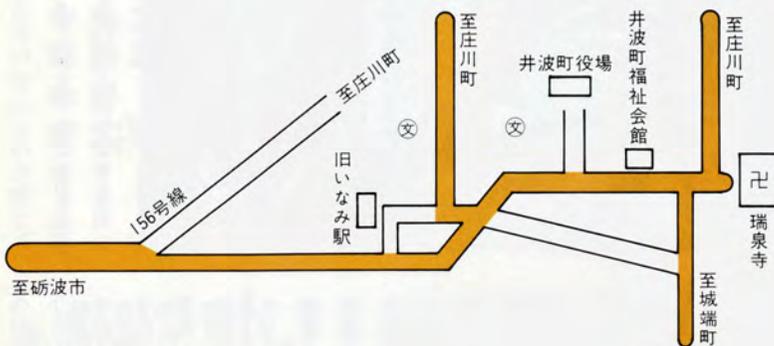
紙本 墨書 後花園天皇宸翰御消息

木彫の町、東砺波郡井波町の真宗大谷派井波別院瑞泉寺に貴重な後花園天皇の宸翰御消息が保持されている。

この御消息(手紙)は、流暢で典雅な仮名まじりで書かれ、差出しも宛名書もないが、書体から宸翰と判断され、第百二代後花園天皇が父貞成親王へ出された御返書と思われる。また、書かれた年も親王の御日記「看聞御記」から永享6年(1434)と思われる。

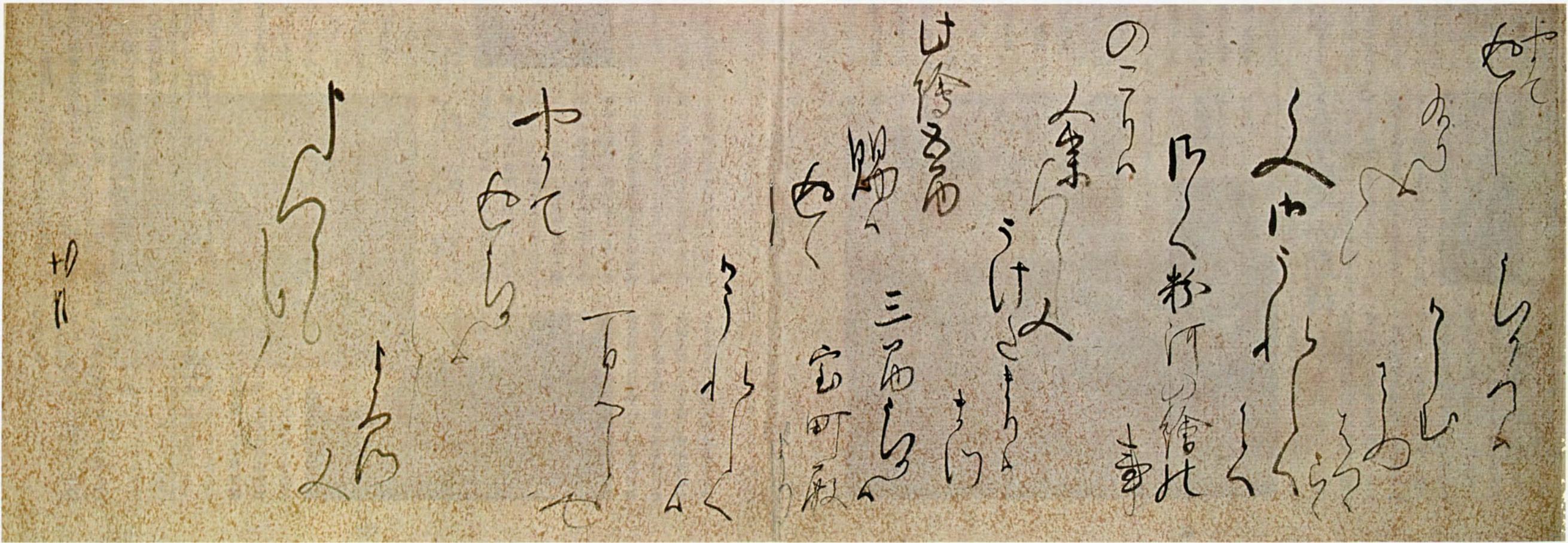
文章の内容は、親王が紀伊の国の粉河寺の縁起を借りて見たいと申されたので「先ず三巻をお貸し申します。これは室町將軍家(足利義教)からきましたので、御覧済みの上はお返し下さい。残りはまたお渡し申し上げます。また、お届けいただいたこの絵巻物五巻は大変良くできています。一覧の後お返し申し上げます」となっている。

瑞泉寺は、本願寺五代緯如上人が、明徳元年(1390)に創建した寺院で、中世から近世にかけて北陸における浄土真宗の大寺として大いに隆盛を極めた。またその建物は、天正9年(1581)佐々成政の兵火で諸堂の全てを焼失して以来たびたび火災にあい、そのつど再建されており、現在のようになったのは大正中期に入ってからである。



### 文書解説

- やかて (8) まいりて候
- 返し (8) 御らむ
- 給わり (8) せられ候
- 候 (8) はて候は
- 文(1) 御うれしく候へ
- さて粉河の絵の事 (2)
- のこりは (9) 又参候へく候又
- 又参 (9)
- うけたまはり候 (3)
- 此絵五巻 (10) まつ
- 賜候 (10)
- 返々 (10) 三巻まいらせ候
- 室町殿 (6) より
- 御うれしく候 (11)
- 一見し候 (12) て
- やかて (13) 返まいらせ候
- よろつ又 (13)
- 申候へく候 (14) かしく



# 放送座談会 ソ連みたまま

## 第7回富山県青年の船

出席(敬称略)  
富山県青年の船名譽団長

- 中田 幸吉 (富山県知事)  
渡辺 裕之 (滑川市)  
江尻 昭 (新湊市)  
村井 秀子 (富山市)  
小笹 ゆみ子 (福野町)  
小林 あつ子 (KNB)



民族芸能で大歓迎—ナホトカ—

去る八月二五日から二週間、ソ連を親善訪問した第七回富山県青年の船のみなさんは、別表のようにソ連各地でソ連青年らと交流を重ね、ソ連という国を深く胸に刻み、九月七日全員無事に帰国しました。

## 広い国、質素な国へソ連

司会 二週間の印象は？

時差を示す時計

渡辺 島国日本に育つ私たちにとって実に大きく広い。特に印象に残ったのは、ハバロフスクの駅と時計ですが、針が三つあるんです。一本はハバロフスクの現地時間午後四時半を指し、一本はモスクワの午前九時を指している。すなわち、ソ連とい



渡辺君

う国内だけで時差がこれだけあるということ。もう一つ、ハバロフスクにはプリアート族という私らと全く同

した。  
九月十八日テレビみんなの県政で放送した、座談会「ソ連みたまま」を紙上で要約しました。

行き届いた自然保護

小笹 一番驚いたのは植林ですね。木を切る時は植林をしない



美しい自然—イルク—ツク—

と許可がおりない。バイカル湖付近には工場をつくってはいけないというように、自然保護が行き届き、計画経済に基づいて

国が動いているという感じ。知事 比較的天気が良かった故



中田知事

もあって、トラブルもなく、スムーズに旅ができたようで、四七年に訪れた時とは格段の相違でした。

司会 何かエピソードは？



赤の広場—モスクワ—

厳格なおばさんに感服

渡辺 モスクワのホテルで、部屋がオートロックになっているんですが、団員の一人が部屋の中にカギを忘れて開かない。おばさんに「中にカギがあるから開けてくれ」と頼むと、カンカンになって怒りだした。なぜ怒っているかわからない。片言で綴り合せると「あなたのハン

## 徹底したエリート教育

施設は立派、人々は質素

知事 それはもう首都ですから道も広く、車も多い。

司会 ファッションは……

小笹 時節が夏から秋に変わる時でしたが、まだ木綿の夏物を着ている人もいました。その



小笹さん

上に毛糸のカーディガンをはおっている。余りファッションにとらわれていないという感じ。

日本のように流行を追わないように、自分で着たいものを着るという感じがしました。特にそれは地方都市で。  
村井 モスクワのデパートに入ってみましたが、売場もせまく品数も少ない。しかし人々はたくさん集まっていました。  
知事 モスクワ大学や赤の広場クレムリンの中などの施設を見てどうでしたか。  
渡辺 この十月に革命六十周年を迎えるソ連ですが、その革命を起こしたレーニンとか、そうした人々の施設は非常に立派なのに感心しました。



子供のときからエリート教育

それから大学全般ですが、モスクワ大学はすごく大きい。全国から優秀な学生を選びすくつ

すが、二回も三回も行くこと、あしたの教育が良いのだろうかという疑問をもつのですがね。

と決めていく人柄といえます。ソ連人の一面をみたような……  
司会 暮参をされたそうですね。  
知事 大戦の時に亡くなった日本人墓地がナホトカにあり、みんなでお参りしたんですが、実にキレイに管理が行き届いて、草一本ない位でした。  
司会 さてモスクワは……

で入れるという、エリート候補の最高峰という感じでした。  
江尻 街自体が集中暖房的な施設となり行き届いている。そういう面がすごく進んでいるのではないかと思いました。  
村井 私はハバロフスクの七三中学校を見学しましたが、女性校長の案内で。施設は良く整備されていて質素なのですが、とても清潔で立派な学校でした。

お国柄での教育

知事 ソ連はもう子供の時からエリート教育する国です。国の方針で全部決めていく。日本の教育ママが行けばビックリするような教育をしている。  
向こうも考えていて良い所ばかり見せるので



若い人と話しますと、国家目的を表面に強く打ち出してくる。ちようど革命六十周年で新しい憲法の草案を出して、今討議しているのだと、どこへいっても打出してくる。

そうした教育など、いろんな面を念頭において考え、見つめていかねばならない。

**スムーズな受入れにビツクリ**  
ところで先の訪問(第二回青年の船)と比較して、今回は歓迎がものすごく良かった。もう一つはホテルが非常にスムーズに部屋割ができていた。前回は

ホテルに着いてから部屋に入るまで、三時間から四時間もかかったんですからね。  
食事の内容も良くなっていたですね。どうでしたか。

## 実に積極的な若者たち

**渡辺** 社会主義国ソ連というところが固く感じるが、私共が会った方はコムモール(青年共産同盟)の、わりと優秀な方々でしたが、みんな明るくて笑顔で積極的でした。あれを聞きたい、

これを知りたいというところが、ありありと見えただんですが、残念なことと言葉があまり通じないでどうも。今度行くまでにはロシア語をやろうかと……。ロシア語というか英語ですね。

**村井** はじめはロシア語の片言



で話していたんですが、向こうも解りにくいらしくって、それ

**ソ連の体臭が身にしみて**

**江尻** はじめの一週間は、黒パンなどでも口に合わなかったが、十日も過ぎると身体に順応したというのか、それでなきや

じゃ英語ということだ。  
**知事** ソ連で英語が話せるとい

いかんような感じで……。ところが日本へ帰ったら体臭がソ連人に似ているというんです。これには驚きました。臭いまでついたんじゃないか。



どエリートで、大学生か大学卒ばかり。だから一般の人とはあまり話せなかったのはチョット物足りなかつたんじゃないかと思えます。

一般の方は、先程も話があったように、お人好して磊落な誰にでも手を挙げて挨拶をするという感じの人たちなんです。

**小笹** 言葉の不自由な点は手まねで……。みんな若いですから歌の交流会やダンスしたりしてコミュニケーションをはかりました。

### 緊張がほぐれた交換会

**知事** 一応のセレモニーが終ると次は芸能交換会。それが済むとバンドが入ってきてジャンジャンやる。若い人たちだからすぐに同調していくんです。

最初のハバロフスクでこんな風でしたから、みんなリラックスして緊張がとれました。こんなことを聞いて良いかどうかなど固くならず済んだ。楽しい気分になりましたね。

**村井** 相手方は、特に女性の方たちはとても積極的でした。日

本の男性たちも、もっとダンスなどに協力すべきではなかったかと。

**渡辺** 私はわりに積極的にしたよ。よく踊らせて貰いました。あちらは小さい頃から民族的な

## 体験を

**知事** ところでこの船で得た体験から、糧になったこと、そしてこれからそれをどのように活かしていくかなど、一言ずつ。

### ソ連を話題に「コミ」を

**渡辺** 資源が非常にたくさんある国なのに質素である。それに比べて日本は資源が乏しいのにハデだ。ということは何かそこにひ弱さがあるのではないかなと思う。しっかりしなくてはと。地域社会では、コミュニケーションを力強く推進したい。団体に入っていますので、そうした方々に私の見たソ連を語って反省したいと思っています。

### 有意義な青年の船

**村井** 青年の船に参加したこの二週刊、普通の二週間とは全く違う実に楽しく、すばらしい有

ダンスという気運がありますから、私の方がリードされたという面はありますが。

**江尻** 僕はダンスは苦手でも、つばら話し込んで。その中で一つ、日本人はつつしみ深いのが

## 地域社会に

意義な思い出になりました。  
**自由って何かを考えたい**

**江尻** 共産主義というのは、機械がらみの何かキチキチとした人間が多いのではないかと、とい



う意識をもって行っていたが、行ってみるといって人間自由自在な人が多い。

資本主義の日本へ帰って自由とは何か?をもう一度考えて見ようと思っています。

### つないだ友情をいつまでも

**小笹** 日本は恵まれ過ぎていてではないでしょうか。もっと

美德のように思っています。ソ連の人は、ことに女性は積極的で、日本の男が踊ってくれな

いという苦情を聞きました。

質素にしなければならぬのではないかと。新しい友達、団員と手をつなぎあっていけたことが、とても

良かったと思うし、今後このつないだ手を離さずにいきたいですね。

### 期待している事後活動

**知事** 江尻君の話の中で、自由ということができてきましたが、二週間でソ連全部を見たわけではないので、まあ身の回りの自由

といいますが、それはもう日本もソ連も同じではないかと思っ

た。自由ということになると、いろんな制約が出てくるのではないかと、中国でも同じようなことが言える。

小さい頃からエリート教育で分けられている。それから女が

けりや子供が育てられない。ために保育所(託児所)を整備して国が子供をあずかる。これもみんな国の政策なんです。これらは自由主義国ではとても考えられないことなんです。

貴重な体験をしていただくのが青年の船の目的ですが、これから写真や記録を整備しながらソ連という国を考えてみるという

な問題が出てくると思うのです。事後活動は義務づけるものではないかもしれませんが、一つ自信をもって、素直な気持ちで語ったり行動をして下さい。

### 第7回富山県青年の船日程表

| 日次 | 月日    | 都市名            | 団員の行動内容                                       |
|----|-------|----------------|---|
| 1  | 8.25  | (富山新港)         | (船内)知事と語る集い・自主研修                              |
| 2  | 26    | ナホトカ           | 研修・日本人墓地墓参                                    |
| 3  | 27    | ハバロフスク         | 日本人墓地墓参・市内見学・交歓会                              |
| 4  | 28(日) | ハバロフスク<br>モスクワ | アムール河遊覧<br>夕食会                                |
| 5  | 29    | モスクワ           | モスクワ大学・地下鉄・市内<br>見学・チャイコフスキーコン<br>サートホール      |
| 6  | 30    | モスクワ           | 赤の広場・クレムリン・宝物<br>殿・国民経済達成博覧会・サ<br>ーカス         |
| 7  | 31    | モスクワ           | レーニン博物館                                       |
| 8  | 9.1   | イルクーツク         | イルクーツク小学校・イルク<br>ーツク幼稚園訪問・日本人墓<br>地墓参・交換会     |
| 9  | 2     | イルクーツク         | タイガ散策   |
| 10 | 3     | イルクーツク         | バイカル湖   |
| 11 | 4(日)  | ハバロフスク         | 森林公園・美術館<br>・サヨナラパーティ                         |
| 12 | 5     | ハバロフスク         | ハバロフスク医科大学・ハバ<br>ロフスク鉄道大学・ピオネ<br>ール宮殿・中学校・幼稚園 |
| 13 | 6     | ナホトカ           | 歓送会(ナホトカ港)<br>(船内)研修・<br>サヨナラパーティ             |
| 14 | 7     | (富山新港)         | 事後活動打合(船内)・解団式                                |

# 200カイリと私たちの食卓

今年初め頃から、新聞・テレビ等で200カイリ問題がしきりと報道され、4、5月の日ソ漁業交渉の難航を背景とした魚価の高騰は、私たちに200カイリ問題の影響の大きさをまざまざと見せつけました。

今回は、200カイリ問題の背景や影響、また私たちがどのような対応を迫られているのかについて考えて見ましょう。

## ◆海の困い込み

二百カイリ問題の歴史は、一九三八年、アメリカがメキシコ湾で海底油田の試掘に成功し、大陸棚領有宣言をし、これを口火に、一九四七年、チリ、ペルーが領海を一举に二百カイリに拡大したことに始まります。これにより、領海の幅について三カイリとする国、十二カイリとする国、二百カイリとする国が、海洋秩序の無法化時代に入ったわけでした。領海を拡大することは、その水域内のすべて

## ◆200カイリと我国の漁業

昭和五〇年における我国の漁獲量は、一、〇五五万ト弱ですが、このうち、外国の二百カイリ内で漁獲されたものは、三五・五割も占めています。外国の二百カイリ水域で我国が獲っている魚を魚種別にみると、スケソウダラが約二百万トで圧倒的に多く、全スケソウダラの約四分の三に当ります。次いで多いものは、カツオ・マグロ類とイカ類

の生物、鉱物資源を排他的に領有できるからです。資源の有限化が叫ばれる中であって、国家主権の及ぶ領域の拡大に各国が独走しだしたわけでした。すでに領海を二百カイリとした国と経済水域や漁業専管水域を二百カイリとした国は、四〇数カ国に及んでいます。我国もこうした流れに抗しきれず、去る七月一日をもって、領海十二カイリ、漁業専管水域二百カイリの実施を行いました。

で、それぞれ約二〇万トとなっています。国別では、アメリカとソ連水域で四分の三近くを占めています。そのアメリカ・ソ連が、去る三月一日をもって二百カイリ水域の実施をしました。

二百カイリ時代になっても、今外国の二百カイリで獲っているものがすべて無くなるわけはありません。ただ、これまでのように勝手気ままに獲ること

図1. 外国200海里内での漁獲内訳

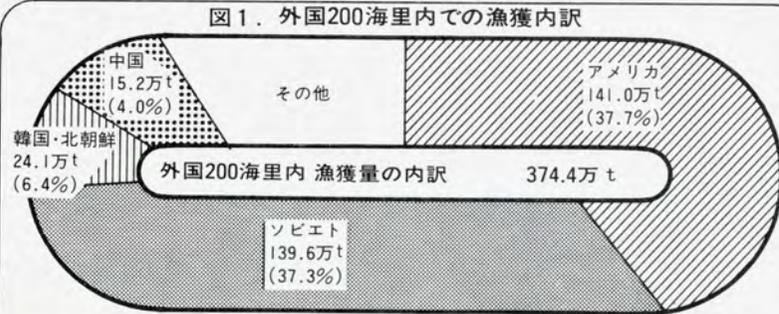
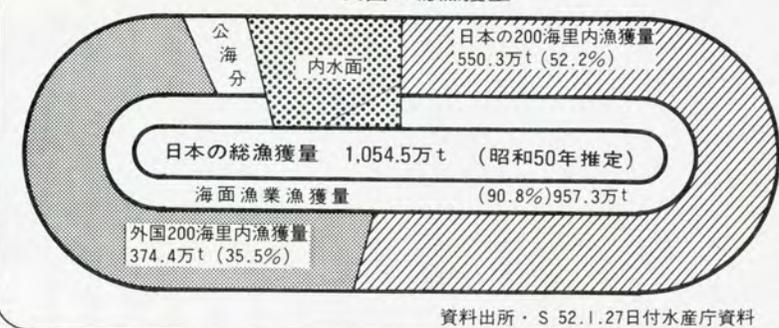


図2. 我国の総漁獲量

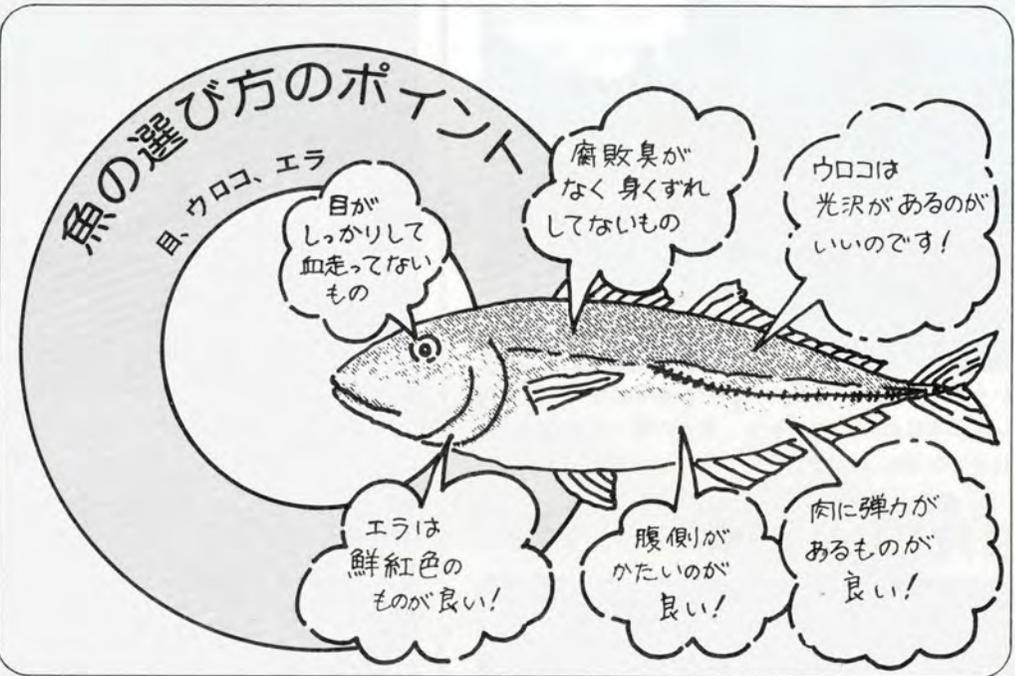


資料出所・S 52.1.27日付水産庁資料

## ◆食卓革命の実践を

今後、私たちはこれまでのように好きな魚を好きなだけ食卓に並べるといっていいわけはできません。悲観的な面ばかりではありません。我国の二百カイリ実施によ

り、国土面積の約一〇倍近くの水域で魚資源を我国が独占的に支配することになったわけです。この水域は、世界でも七番目の広さを持ち、いわし、さば、さんま、かつお等世界有数の水産資源の豊庫でもあるのです。遠洋漁業が二百カイリの荒波をかぶる中であって、私たちは、もう一度日本沿岸の魚を見直すことが必要です。サバ・イワシ・サンマといった多獲性魚は、そのほとんどが日本の沿岸で獲られています。それにもかかわらずサバ・イワシの三四割しか食卓にあがってはならず、残りは魚の養殖や家畜等の飼料となっているのが現状です。今後はこうした資源の浪費は許されなくなるでしょう。私たち消費者としても、これらの多獲性魚をもっと食べるようにしたいものです。また、魚の食べ方や調理方法も、もっと研究しなければなりません。実際私たちが食している部分は、我国総魚獲量のわずかでしかありません。魚屋さんで切身を買うのではなく、丸こ



と買い、自宅で調理し、切身をとったあとの頭や骨も活用すれば、カルシウムの補給にもなり

## 免税点が引上げられる

### 料理飲食等消費税

| 店の種類           |       | 新免税点        | 旧免税点        |
|----------------|-------|-------------|-------------|
| 旅館             | 宿泊    | 1人1泊 4,000円 | 1人1泊 3,400円 |
|                | 休憩・飲食 | 1人1回 2,000  | 1人1回 1,700  |
| 飲食店・喫茶店など      |       | 1人1回 2,000  | 1人1回 1,000  |
| チケット制の食堂       |       | 1品につき 1,000 | 1品につき 850   |
| 料理店・キャバレー・バーなど |       | なし          | なし          |

(免税点以下の場合には税金がかかりません)

軽い飲食や宿泊その他の利用行為に対して、免税点が適用されますが、その免税点がこの十月一日から図のように引上げられました。

ただし、料理店、バー、キャバレーなど遊興をとまなう店については、免税点の適用はありません。

\*公給領収証を必ず

取得してください\*

## ●県政のうごき——8月16日～9月15日

8月20日 県美術館に故横江嘉純氏の作品



55年10月にオープンする予定の県立美術館に収蔵する美術品として、8月上旬覚書をかわした県出身の彫刻家故横江嘉純氏の作品彫刻約260点とその他の遺品含めて340点余りを、富山に搬送する準備をいたしました。

横江さんは八尾町石戸に生まれ、昭和37年、75歳で亡くなりましたが、この間日本の彫刻界の雄としてその名は高く、同じく県出身の佐々木大樹氏と双へきの方です。

8月23日 県青少年オーケストラ 韓国へ親善演奏旅行に出発

音楽文化使節として、韓国を親善訪問する富山県青少年オーケストラの一行約100人が、元気に出発しました。音楽を通じて日韓両国民の深い親善を図りたいとするこの一行は、27日までの4日間、ソウルや大田



市などで、現地の若者たちとの交換演奏会を行ないました。

8月25日 ソ連と友好親善に出発 第7回富山県青年の船



ことしの富山県青年の船は第7回目を迎え、ソ連を友好親善訪問することになり、109人の団員と管理部員や報道関係者を含め総勢150人が、富山新港からソ連船ハバロフスク号(5000ト)で出発しました。一行は、ナホトカ・ハバロフスク・イルクーツク・モスクワ等を訪問し、ソ連の青年達と友好を結び、9月7日、この訪問の成果をこれからの事後活動に役立てようと胸に秘め、全員無事に帰りました。

8月26日 富山市の高塚さん カラコラム登頂者と判明

8月8日に日本K2登山隊が、世界第2の高峰、カ

ラコラムのK2(8,611m)に登頂成功したことが既報されましたが、その登頂者3名のうちに、富山市出身の高塚武由さんがいたと連絡が入りました。富山県からは、高塚さんのほかに、入善町の酒井秀光さん、高岡市の小杉礼一郎さんも参加しています。

8月27日 700人が立山清掃奉仕に 県青年団協議会

若人の手で立山を美しくと「立山美化大行進」は、今年16回を迎え、27日、28日の両日県内の連青や、賛同者約700名が参加して行われました。年間立山を訪れる登山客は約100万人、その1入ひとりが、その美しい立山に心打たれるなら、自分の持ってきたものは自分で仕末しましょうと呼びかけていました。

9月5日 日ソ沿岸市長会議、富山市で開催



日ソの友好と経済・文化の交流増進をめざす、第6回日ソ沿岸市長会議(日本側16市、ソ連側7市)が、富山市公会堂で開かれました。席上第1議題として、「日ソ両国民間の協力並びに友好関係の発表における諸都市の役割」が討議され、日ソ両国の「姉妹都市」提携の果たす役割と、両国の友好が都市レベルでの親善協力の積み上げにその目的が果たされることが強調されました。(写真は県庁への表敬訪問)

9月9日 三笠宮御夫妻迎え 全国レクリエーション大会開幕

「コミュニティに連帯と生きがい。をテーマに、



第31回全国レクリエーション大会は、三笠宮御夫妻を迎え、9日から3日間、富山市を主会場に県下各地で盛大に開かれました。(この項表紙4を参照)

9月11日 若人、青春のエネルギー発散 第7回ジャンボ・ヤング・フェスティバル



あすの富山をにう若人が、青春のエネルギーを発散するジャンボ・ヤング・フェスティバルは、第5回を迎え、富山市公会堂と城址公園で開かれました。

昨年までの娯楽コーナーを中心の運営方針から脱皮して、講演会や意見発表のコーナーを組み込み内容の充実をめざし、若者や家族連れで終日盛会なにぎわいをみせました。

# 企業に寄生暴力団の

## 縮出し



### ◎暴力団の企業進出が目立つ

警察の重点施策の一つに、暴力犯罪の強力な取締りがあります。

しかし、県下の暴力団の実態をみますと、その勢力はなかなか衰えをみず、いばかりか、組織を維持し、かつ、その勢力を伸ばすための資金獲得についてあらゆる手段を講じています。

特に暴力団犯罪が知能化して企業を対象に、その内部問題を干渉し、不法な資金源を得ている事例は数多くあります。検査したいいくつかの例を拾ってみますと、

▽債権取立てをめぐるもの  
建設会社社長に対し、「わたしは極道者だ。約束を守れないなら指をつめる」等と脅迫し、手形取立ての名目で額面五百万円円の約束手形・小切手をおとし

取った。

▽暴力金融をめぐるもの  
金融業を営んでいる暴力団が、洗剤会社に対する債権者取立てを理由に、社長をホテルに監禁して脅迫。商標権や製品三千万円をおとし取った。

▽債権整理をめぐるもの  
倒産会社の債権整理を依頼された立場を利用して、架空の貸借契約を結んで同社事務所を占拠し、債権者の代理人に「俺たちが事務所にいる限り二束三文だ。ただでは動かんぞ」と脅迫し、現金・小切手二千五百万円をおとし取った。

▽手形パクリをめぐるもの  
製薬会社社長に対し「六千万円ほどの金を遊ばせている人を知っている。話をつけてやる」などとウソをつき、額面六千万円円の約束手形をだまし取った。

▽融資をめぐるもの

取引関係のある銀行から決済手形に関して、預金不足の連絡を受けたことに因縁。融資を名目に百万円をおとし取った。

この他、暴力団の総会屋が脅迫するなど、身近な企業を喰いものにしている暴力団があとを

富山県内では、今年に入り包丁を使用した殺人事件二件、婦女暴行事件五件が発生。警察では「持つな持たすな危い刃物」をスローガンに、十月を「凶器使用犯罪未然防止活動月間」に指定し、日夜パトロール活動を強化し、凶器使用犯罪をなくして、県民の平穏な暮らしを守ることにしました。

絶対しません。

### ◎企業へのお願い

暴力団組織を壊滅に導くためには、その資金源を封じることが最大の方策。そのためにも被害の場となる企業の皆さん方の協力がなければ効果が期待できません。

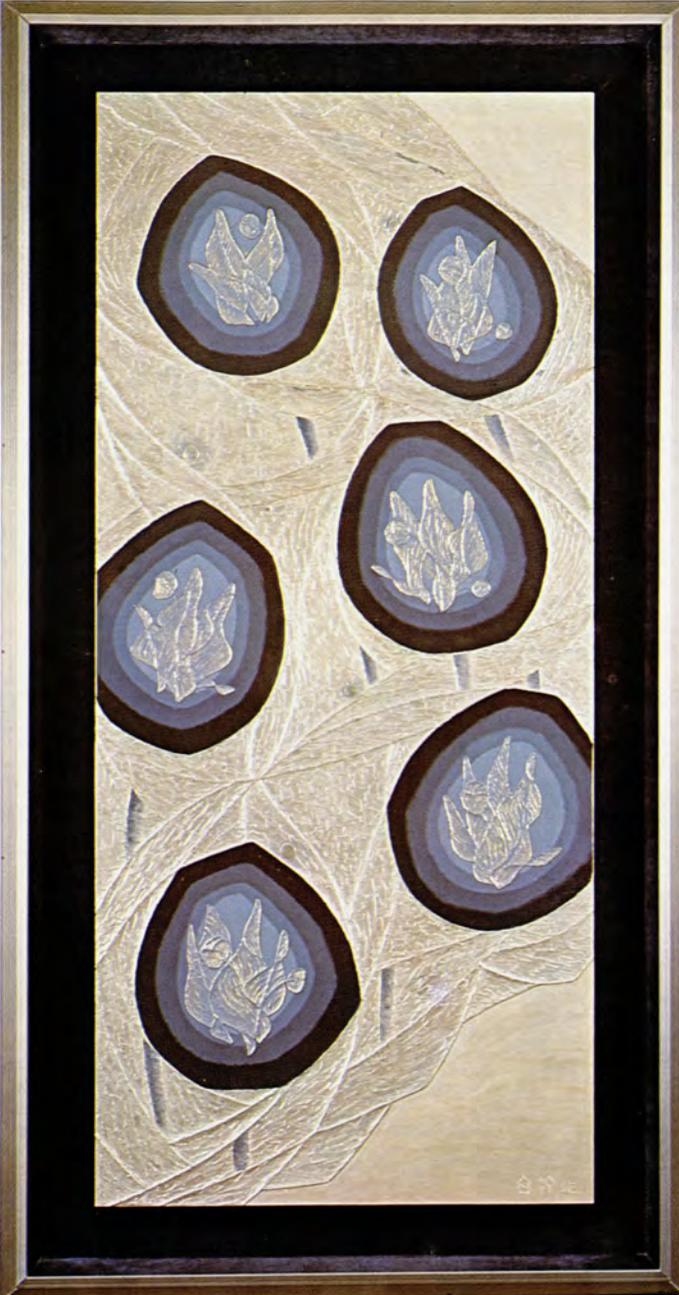
### 持つな 持たすな 危い刃物

○家庭では、不必要な刃物や使い終わった刃物を、人目につかないところへ収納しましょう

○子供は、飛びだしナイフ、ヌンチャク、アイクチなどに興味をもちますから、危険な遊びに走らないよう注意しましょう

○許可を受けて持っている猟銃、実砲・刀剣類は、盗まれたり、不正に使用されたりしないよう保管を厳重にしましょう

- 暴力団に對し弱味をつくらな
- いようにする
- 企業相互の緊密な連絡を行い被害を未然に防止する
- 暴力団と思われる者の介入があった時は早期に警察へ相談する
- 被害にかかったら、勇気をもって警察へ届ける
- 暴力団に対する賛助金・寄付等を絶対しない
- 暴力団から暴力団を縮出するための協力をお願いします。



# 華生

横山白汀 作  
在・県議会議事堂ロビー

白汀・横山豊太郎は彫刻工芸の町井波の出生、高岡工芸学校彫刻科卒業後、東美研究科に学び渡辺香涯に師事、その後漆芸に志し山崎覚太郎先生の知遇を得て日展特選、審査員・評議員を歴任された斯道の大家であり、終生井波町美術文化の向上発展に尽された先達であった。

富山県文化功労賞・富山新聞文化賞・従五位勲四等瑞宝章に輝く。「華生」は昭和四十年の日展出品作であって、県花チューリップを主題とし、銀漆を主に青紫に映える淡雅な趣は、従来の漆蒔絵のイメージを優越した新鮮な感覚技法として、白汀芸術独特の秀作であろう。

額装。パネル形式も当時の工芸美術作品に適用は嚆矢とするところ、画面を構成する簡化された流麗なデザインと薄肉彫刻とも思われるチューリップの図様は、華麗にして明快・斬新の漆芸作品である。

佐藤良成

# テーマ コミュニティに連帯といきがい

昭和52年9月9日～11日

第31回 全国

# レクリエーション大会

三笠宮御夫妻迎え



この成果活かしをいつまでも

三笠宮御夫妻をお迎えして開かれた第三一回全国レクリエーション大会は富山市を主会場に約三千名余りの関係者が集い、「コミュニティに連帯と生きがいを」をテーマに、これからの社会におけるレクリエーションのあり方について、研究協議や実践活動が熱心にくりひろげられました。

大会のハイライト「交換の夕べ」などで、踊りの輪の中に入られた三笠宮御夫妻は実に楽しんで、盛んな拍手を受けておいででした。

この大会を核にして、レクを通じてのコミュニティの輪は広がるでしょう。

|                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 式場の県民会館へお着き            | お元気な両殿下          |
| おわらの里ではハッピーを着てあざやかな手ぶり | 各研究会場では熱心に御聴講    |
| 緑化センターでお手植え            | フォークダンスに興じられる御夫妻 |

三笠宮御夫妻  
スナップ

